

地図（社会）科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい地図帳 第4・5・6学年
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人々の社会生活の様子をとらえたり、その特色や相互の関連などを考えたりすることについては、都道府県の形や文字、位置に着目したクイズや自分が住んでいる都道府県の位置の確認など、都道府県の位置と名称、都道府県の様子や地域（福岡県・大阪府・愛知県・東京都）を詳しく学習する活動を通して、地図や具体的資料を活用し、その特色などを考える活動 ・ 我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりすることについては、地球儀を回転させながら世界の地図とともに世界の主な大陸と海洋の位置や日本の都市と外国の都市の距離、方位大陸の大きさや形を確かめる活動を通して、地図帳や地球儀、統計（日本の貿易）等の基本的資料を活用して調べる活動 ・ 我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりすることについては、我が国の世界文化遺産や世界自然遺産に登録された場所を探す活動を通して、歴史に関する社会的事象について地図や資料を活用して調べる活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、地図上のある地点から見た方向を考えたり、距離について様々な縮尺で計ったりするなど、地図の表記のきまりについての基礎的な知識・技能を習得させる活動や、日本の地形や気候などとの関係から自然災害の起きる要因や防災対策について考えたり、北海道の水産物・農産物・工業生産の生産量について考えたりするなど、習得した知識・技能を活用するための具体的な活動が取り上げられている。
内 容 の 排 構 列 成 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、巻頭の「ながめてみよう日本のすがた」「日本の地形」により、世界遺産の写真も入れて日本列島を概観した後に「地図帳の使い方」、都道府県の地方図、都市部の拡大図、「世界の地図」を取り扱っている。 ○ 内容の排列については、日本や世界の自然や産業、歴史や文化等の「資料・統計」を排列し、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が4ページ、「日本の全図」が14ページ、「日本の地方図」が32ページ、「世界の地図」が15ページ、「資料・統計」が29ページであり、総ページは94ページで、前回より21パーセント増となっている。（A B判からA 4判に変更）
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真や模式図、イラスト等の多様な表現を用いたり、北海道ではアイヌ語に由来している地名を調べたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ キャラクターのセリフによって地図の活用の着目点を示したり、日本や世界の産業や自然にかかわる「資料・統計」では、関連するページを示して作業を指示したりするなど、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土・竹島・尖閣諸島の位置が「日本列島」の中に示されている。

地図（社会）調査研究報告書

書名 観点	<p style="text-align: center;">帝国書院 楽しく学ぶ小学生の地図帳</p> <p style="text-align: center;">4・5・6年生</p>
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人々の社会生活の様子をとらえたり、その特色や相互の関連などを考えたりすることについては、身近な地域や市（区、町、村）について、社会生活の様子（具体的にはオホーツク海沿岸）や土地利用の様子、主な公共施設などの場所、都道府県の名称や位置に着目し、クイズや紹介文を作成する活動を通して、地図や具体的資料を活用し、その特色などを考える活動 ・ 我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりすることについては、世界各地の主なまつりや日本と同じ緯度の国を探すなどの世界の国名と場所を覚える活動や、我が国の端にある島々を確認しながら国土の大きさを知る活動を通して、地図帳や地球儀、基本的な資料などを活用して調べる活動 ・ 我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりすることについては、今の都道府県の昔の名前を調べる活動や歴史上の主な出来事と場所を探す活動を通して、歴史に関する社会的事象について地図や資料を活用して調べる活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、主な地図記号を地図中から探したり、方位や縮尺、高さについて考えたりするなど、地図の表記のきまりについての基礎的な知識・技能を習得させる活動や、災害を防ぐ工夫、災害時の身の守り方（防災マップ）について実践的に考えたり、十勝平野の畑作や、流氷が押し寄せる網走付近の人々の生活の様子について考えるなど、習得した知識・技能を活用するための具体的な活動が取り上げられている。
内容 の構 成 排 列・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、巻頭の「地図のなりたちとやくそくごと」、「地図帳の使い方」の後に日本列島を概観する「日本とそのまわり」、日本列島全図があり、都道府県の地図、都市部の拡大図、「世界の地図」を取り扱っている。 ○ 内容の排列については、日本の自然や産業、歴史、日本と世界の結びつき等の「資料・統計」を排列し系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が6ページ、「日本の全図」が12ページ、「日本の地方図」が32ページ、「世界の地図」が17ページ、「資料・統計」が19ページであり、総ページは86ページで、前回と同様となっている。（前回と同様A B判を使用）
使 用 上 の配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真、絵地図、鳥瞰図、イラスト等の多様な表現を用いたり、降雪地や流氷が接岸する地域の工夫を確認したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 児童の視点に立ったキャラクターのセリフによって地図の着目点を示したり、「ノートコーナー」では理解を深める説明や解説、作業を指示したりするなど、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土・竹島・尖閣諸島の位置が示され、写真と解説が明記されている。